

全員野球！

来海 恵子議員



来海 9月議会、地域で防犯力を高めるために全家庭に学校の連絡票を配布したらと提案しましたが、**教育審議員** 総務課と連携し、1月の中旬に配布予定で進めています。

来海 拾八町笹原線（陸上自衛隊北熊本自動車教習所の西側から笹原区の公民館前を通って、黒石原演習場に通じる市道）は、子どもたちの通行も多く、また、抜け道になっており車がスピードを出し危険で、一部で舗装されていない所もあります。道路部分も旧合志町以来30年以上打ち替えておらず、整備していただきたいのですが。

建設課長 歩道のない舗装の狭い部分については、舗装と未舗装部分に段差ができ水溜りができる状態なので、応急処置として砂利を敷き段差の解消を図りました。また、規模の舗装の打ち替えについては、路面の傷み具合や各地区からの要望等を勘案して、本年度に市全体の道路舗装維持管理計画を策定し、順次舗装の打ち替えを行います。

来海 南ヶ丘小の通学路、通称永江

味千ラーメン交差点は児童の7割が通学し、最近空き地が住宅地に開発され、信号の位置も変わり歩道が狭く危険です。以前からスクランブル交差点にしてはと提案し、地元自治会からも要望が出ていますが、**総務課長** 大津警察署から26年度内にスクランブル交差点化の工事を行うと連絡をいただいています。

来海 職員が約310人います。310人の目が通勤途上で子どもたちの危険な場面を目にすることがあると思います。自分の部署と関係なくとも、気づいたら連絡し改善する。職員全員が、安全安心の目になるという感覚を持ってほしいのですが。

市長 改めて、そういう感覚を持つように指示したいと思えます。



通行量が多く危険な永江味千ラーメン交差点

空き家の適正管理

そしてまがひへの活用を！

濱口 正暁議員



濱口 秋の臨時国会で「空き家対策特別措置法」が制定され、治安や防災、生活環境問題等への取り組みが進められることになった。さらに、「空き家をまちづくりに活用すること」も見えてきた。今後の進め方について伺う。

総務課長 国の基本方針が平成27年5月6月頃示されるので、それから市の計画策定、調査、協議会を立ち上げて進めることとなる。

商工振興課長 空き家の管理は所有者等になり、承諾を得た上で「クラッシュノコシ」による空き家関連連事業及び合志市商工会の「すまいアレコレ」等情報提供を行って活用等に取り組みたい。



空き家活用事例—ぼっかぼかすずかけ

市民の健康への

濱口 健康管理は自己管理が最も大事なことだが、市として指導・啓発している実態と今後の進め方は、**健康づくり推進課長** 自分の健康状態を知るために、まず「特定健診受診」をして欲しい。そして、悪い部分の治療をぜひして欲しい。悪化が進み入院となると、通院の15〜20倍の治療費が掛かる。本人も大変だが国保の負担も大きくなり、皆さんの保険料の上昇にもなってしまふ。今後、国から「データヘルス計画」策定の指示があり、平成27年度からし

セプト点検のフォロー及び個別の勸奨や相談ということが重要になってくると思われる。

中学生の医療費補助の

濱口 右の工程計画の内容は**子育て支援課長** 8月の事務事業検証会でも取り上げられ、小中学校工アコン導入の電気料金実績等を精査しながら検討を進めていきたい。

道徳教育ではいじめは防止できない

今村 直登議員



二部活動等における安全対策は！

今村 フィギュアスケートの大会で、羽生選手が本番前の練習で他の選手と激突し負傷しながら大会に出場したことが、スポーツ医学会等から批判の声が挙がっている。体が発達途上にある小中学生だと深刻な事態になることが予想される。こうした場合の指導等はどうか。

教育審議員 事故発生時の対応マニュアルがある。まず児童生徒の安全確保が最優先です。事故発生時の状況確認を行い、担任、担当者、養護教諭、管理職が負傷の状況を判断し、安静にするのか、病院に搬送するのか、保護者に連絡するのかを判断し、軽症であつてもしばらくは様子を見て、救急車を要請する場合は、保護者並びに関係機関に速やかに報告するようにしている。事故防止のための対策、緊急時の対応を適切に行い、児童生徒の安全確保に努めていきます。

道徳教育のUSP

今村 滋賀県大津市でのいじめによ



る死亡事件を機にアツという間に道徳が教科となってきている。道徳の教科化でいじめは防止できるのか。**教育審議員** 今回の道徳教育の改善に関する議論の発端となった「いじめ問題」の対応は、児童生徒の規範意識の低下した中でいじめ問題のよりに現実の困難な問題に主体的に対処する実行性のある力を育成していく必要性から強調されたものだ。

今村 安倍首相の教育再生の中身は、第1に大企業のために働くエリートづくり、第2に従順に働く労働者づくり、第3が競争をするための人材育成であり、それを道徳教育という美名で隠している。そこを見抜いて子どもたちに教えるべきだ。

教育審議員 道徳教育を通じて、今後直面するであろうさまざまな事象に対し、対処できる力を育ててくなくてはならない。

中学3年生までの医療費無料化を！

濱元 幸一郎議員



濱元 菊池市、菊陽町、大津町も中学3年生までの医療費無料化を実施している。山鹿市は、高校3年生まで無料化を実施する。既に45自治体中35自治体で中学3年生まで、あるいはそれ以上の無料化を実施している。合志市は、子育て支援日本一を掲げているが、子どもの医療費無料化は遅れている。見解は、**子育て支援課長** 子育て支援は、子ども医療費の無料化年齢を引き上げることだけではないと思っている。

昨年度には、小中学校の普通教室全てにエアコンを導入し、その電気料金についても市が負担している。その他の子育て支援策の充実、子育て支援策全体では充実していると考えている。

濱元 この間、合志市が子育て支援策の充実について努力していることは十分わかっている。しかし子どもの医療費無料化は、子どもたちの健康がかかっている。すでに小中学校にエアコンを設置しながら子どもの医療費無料化を引き上げている自治

体もある。市もただちに実施すべきだ。市の予算の0.1%でできる。今回の議会には、市民のみなさんの2千数百の署名とともに、「子ども医療費無料化拡大を求める請願」が提出された。多くの市民のみなさんが、無料化拡大を望んでおられる。この声を真剣に受け止め検討すべきだ。

市長 今回の議会に提出された請願については、真摯に受け止めていただきたい。前向きに、十分検討させていただきます。

